光町十周年記念
感謝状表彰状授与者

合併功労者

元町長職務執行者	越川　仲
元町助役	布施　光次
元南条村長	鈴木喜十郎
元白浜村長	向後　英正
元日吉村議会議長	伊橋利平
元東陽村議会議長	大木市蔵
元白浜村議会議長	小川徳重

自治功労者

元東陽村長	越川保三郎
初代町長	椎名　誠一
元町助役	竹内　文雄
〃	鈴木　実
元町収入役	野村　卓爾
元町議会議長	堀越　安治
〃	伊藤幸太郎
町議会議長	鈴木喜代司
町議会議員	飯田　政治
〃	大木　新一
元町議会議員	宇井　良雄
〃	大木　要
〃	堀越　謙治
〃	伊藤　熊吉
〃	大木　猛
〃	伊藤松之亮
〃	市田　慎治
〃	布施　六郎
〃	越川増荒男
選挙管理委員長	浅野　栄治
監査委員	向後　忠一
元消防団長	椎名　洋
病院事務長	鈴木　央
病院事務吏員	鈴木　明
関納税組合長	椎名　幸七

教育文化功労者

中学校ＰＴＡ会長	青柳要三郎
社会教育委員	郡司　辰二
社会教育委員	椎名　弘
東陽小学校長	鈴木　武

産業功労者

農業委員	土屋　克
元農業委員会長	佐久間幸三
農業委員会副会長	鈴木将治
と畜場同業組合顧問	斉藤　正
〃	大木　源司
と畜場運営委員	伊橋　薫

社会福祉功労者

中央保育園長	椎名　彰
国保運営委員	伊藤　光雄
民生委員総務	橋浦　寛照
国保運営委員	最上　清幸
民生委員	岩沢治太郎
〃	鈴木　高
婦人会役員	加瀬　よね
〃	平山　多美

節婦

篠本五〇九九	高梨　みさ
小田部五三九	高嶋　昌子

職員

事務吏員	須合　二郎
〃	鈴木　信夫
〃	杉山　まさ
放送室職員	中本　千鶴

団体

虫生納税貯蓄組合

日吉緑地会

出張所廃止の経過と今後の事務処理について

去る五月二十七日の町議会において日吉、白浜両出張所は六月一日より廃止することとの議決がなされました。

従来出張所で取扱ってゐた戸籍関係を主体とする届書、謄抄本の発行或は諸証明の交付については本庁へ移管統合することとなります。

但し二週間の整理準備期間中はそのままとし六月十五日以後は一切本庁で処理に当ることとなったものです。

想えば昭和二十九年五月町制を施行して以来早くも満十ケ年を経過いたしましたが当時の合併条件として各地区に出張所を存置するが町の機構整備が充実し強化され次第成可く早期に出張所は廃止することとの意見が統一されて居りました。

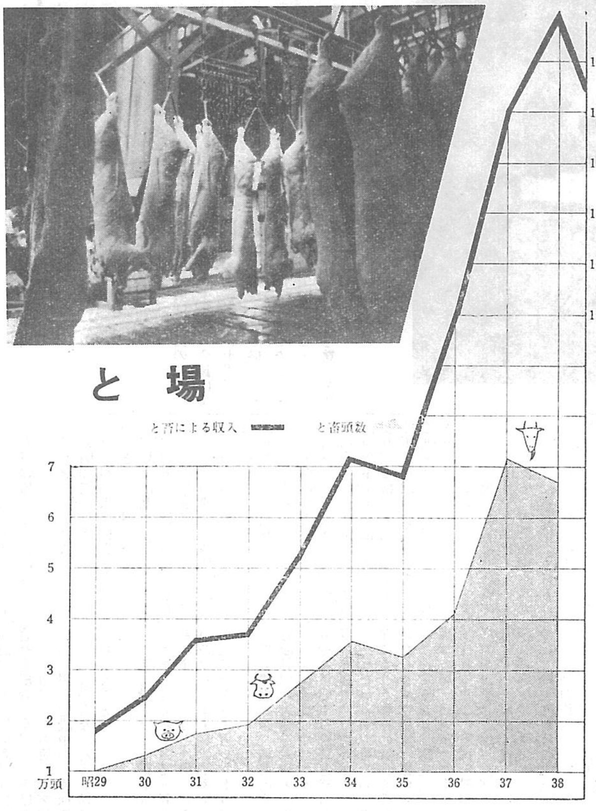
その後措置として昭和三十年六月に南条出張所が廃止され次いで両出張所の処遇については折にふれ幾度か話題にのって協議が進められたが、機会に恵れないまま現在に至ったのであります。

偶々十周年を迎えた現在を契機として本格的な審議がなされ関係地区の協議会更に部落座談会を開催して広く廃止についての趣旨及び対策の普及徹底を図った結果関係町民各位の御理解ある協力を得て今回廃止の線が出たものであり以後は諸情勢に即応して、事務処理の統一化による事務改善が行はれ迅速にして然も合理的に事務が推進されることとなります。

扨て出張所廃止後の受付処理に当っては従来と異って直接本庁扱いとなるので関係住民の皆様には何かと不便になるものと心配される向もあるやに懸念されますがこのことについては出来得る限り各種対策を講じて御迷惑をかけないよう善処する方針を執って居りますので、事足る範囲は極力有線電話の活用と更に要務員（職員）を通して要望処理に当りますので気軽に御利用を御願いいたします。

特に今回は地区農業協同組合の格別の御協力を得て更に連絡協調を密にして実績向上に努力いたします。

尚諸税の出張徴収についても日割を増してことに当りその他の協議打合せ或はすべての行事については従来と何等変りなく強化されますので何分の御諒承を得度く申添えます。



町政十年の歩み

昭和二十九年五月三日　旧日吉村、南条村、東陽村、白浜村が合併し町制施行光町誕生する。

町長職務執行者は、~~白~~旧東陽村長越川伸氏就任

昭和二十九年五月十三日　合併初の町議会招集される。議員定数六四名。初代町議長は、前南条村議長深田三郎氏と決定。

昭和二十九年五月十五日　町消防団一本化なる。団員数一、二九〇名

団長　越川増荒男氏就任

昭和二十九年五月十八日　光町誕生祝賀式を東陽小学校で挙行。

昭和二十九年六月十日　教育委員会議

委員長　堀越安治氏選任

昭和二十九年六月十九日　町長選挙　初代町長椎名誠一氏となる。

昭和二十九年九月二十二日　助役二人制で、布施光次、竹内文雄の両氏選任される

昭和三十年二月二十二日　収入役野村卓爾氏就任。

昭和三十年三月二十九日　役場新庁舎完成。建坪一四五、七五工事費三六〇〇千円。

昭和三〇年四月二十八日　町議選挙　この選挙から町議定員二十六名となる。

昭和三十年五月一日　町章制定

昭和三十年五月九日　初の町議会　議長堀越安治氏選出

昭和三十年六月一日　南条出張所廃止

昭和三十年九月十五日　光町農業共済組合発足　初代組合長は土屋克氏

昭和三十一年四月二十六日　光町農事研究会結成される

昭和三十一年八月　旱魃により大利根水量不足し塩害甚大、塩害対策協議会結成される。

昭和三十一年十二月　東陽と畜場改築工事完成　工事費一二、四三八千円、

昭和三十二年一月一日　ひかり広報第一号発刊

昭和三十二年二月二十日、町営住宅二〇戸竣工、町営住宅は其の後三十二年度　二〇戸　三十三年度　二〇戸、三十四年度　二〇戸計八〇戸が完成された。

昭和三十二年三月　日吉保育園中央保育園開設

昭和三十二年五月一日、助役鈴木実氏就任　従来の助役二名が今回より一名となる

昭和三十二年七月二十二日、農業委員会法改正後の第一回農業委員会開催　委員数三〇名、

会長　佐久間幸三氏選任、

昭和三十二年九月一日　新市町村建設計画策定始まる。

昭和三十三年三月五日東陽病院結核病棟完成

昭和三十三年六月一日　塩干害のため東陽白浜両地区で、農林省から機械を借り水揚作業をやる

昭和三十三年六月十日町長選挙　無競争で深田三郎氏当選

昭和三十三年六月十日　第二代深田町長就任、

昭和三十四年二月十七日　東京、朝日新聞社で米作日本一表彰式

光町二又　内藤日出男氏は早期栽培で日本一収量賞を受ける、

昭和三十四年三月十一日　収入役に伊藤兵司氏就任

昭和三十四年四月一日　新井消防団の自動車ポンプ祝賀式町に最初の自動車ポンプが購入された。

昭和三十四年四月三十日　町議選挙、日吉、南条、白浜の三地区は無投票、東陽地区のみ投票を行う。

昭和三十四年五月六日　と畜冷蔵庫増築工事竣工　工事費二、〇〇〇千円　三十四年と殺数三六、〇二九頭

昭和三十四年五月九日、初の町議会議長伊藤幸太郎氏となる。

昭和三十四年十二月二十一日　白浜保育園開設、

昭和三十五年一月八日、光町消防団本部に初めて消防自動車ポンプ購入その披露式挙行される。

購入金額一、五〇〇千円

昭和三十五年二月、中学校統合新校舎建設について、部落座談会各地区で行はれる

昭和三十五年二月二十五日　統合中学校を橋場に設置する事が、町議会で議決された、

昭和三十五年三月十日　光町商工業協同組合発足　初代理事長　桑田勝治氏

昭和三十五年四月一日　消防団員定数改正で団員数九〇〇名となる。

昭和三十五年五月一日、新町建設計画により有線放送が設置され本日から開通する

加入者　一、一八八戸

工事費　一〇、一六八千円

昭和三五年五月二十日　光町伝染病棟竣工

建坪　一二六坪

工事費　五、九〇一千円

昭和三十五年五月二十四日　南米チリ地震のため白浜海岸に大津波襲来　水田八町歩冠水、魚船六隻大破する。

昭和三十五年六月六日　新農山漁村特別助成事業開始される。

この事業は、三ヶ年継続事業で、傍示戸農道、集乳所、土壌消毒機が整備された。

昭和三十五年七月三日　と場創立五十周年記念式典挙行される。

昭和三十五年七月十五日　農業委員改選

昭和三十五年八月二十八日　東陽病院創立十周年記念式典挙行される

昭和三十五年九月十三日　尾垂浜に建設された、成田山不動尊上陸記念碑除幕式執行

昭和三十五年十月一日　国勢調査施行

町人口　一二、〇一九人

男　五、七一八人

女　六、三〇一人

世帯数　二、三四四世帯

昭和三十五年十一月十七日光中校舎建設工事着工

昭和三十六年七月一日　助役に小川徳重氏就任

昭和三十六年七月二十三日町に最初の老人クラブが白浜地区で結成

昭和三十六年十月二十一日光中学校上棟式挙行

昭和三十六年十一月一日　町勢要覧第一号発行

昭和三十七年五月二十日　町長選挙執行　深田現町長再選

昭和三十七年七月一日　光町婦人会発足

初代会長　鈴木つね氏

昭和三十七年十月十三日　光中統合校舎落成式挙行される。

建物延面積　四、一四五八平方メートル　校地及び運動場四二、三〇〇平方メートル

工事費　五六、〇〇〇千円

昭和三十七年十一月十四日　助役川島克巳氏就任

昭和三十八年一月二十二日　東陽小学校の給食室上棟式

昭和三十八年三月十一日　収入役伊藤兵司氏再任

昭和三十八年三月　古屋消防団で消防自動車ポンプ購入

昭和三十八年三月三十一日　旧東陽中跡に東陽小学校移転校舎上棟式

昭和三十八年三月三十一日　三十七年度と場のと畜頭数七三五二二頭

昭和三十八年四月一日　住民課新設し役場事務の刷新を図る

昭和三十八年四月三十日　町議選挙　この選挙から、町全区の大選挙区制となり定数二十二名となる。

昭和三十八年五月四日　初の町議会議長鈴木喜代司氏となる

昭和三十八年五月三十日　光中屋内運動場の落成式挙行

建坪七六五、六平方メートル

工費　一三、二〇〇千円

昭和三十八年七月十六日　農業委員選挙

昭和三十八年七月二十七日　農業委員総会　会長は椎名彰氏再選

昭和三十八年七月三十日　東陽病院組合立促進委員会開催

昭和三十八年十月一日　農業構造改善事業予備地域指定される

日吉小プール竣工式

二十五mプール

工事費　二、二五〇千円

昭和三十八年十月一日　青年研修所を旧東陽小跡に設置する。

昭和三十八年十月十三日　第一回光町体育祭を光中グランドで開催

昭和三十八年十一月二十六日　消防団白浜本部に消防自動車ポンプ配置

和和三十八年十二月十日　移動県庁が、光中屋体場で開催され、友納知事来町

昭和三十八年十二月二十一日　白浜小給食室竣工

昭和三十九年一月七日　と場焼却炉竣工し火入れ式挙行

と場の三十八年度と畜数は六六、九二〇頭

昭和三十九年二月十日　組合立東陽病院初議会懸案の東陽病院の組合立が光町、横芝町、野栄町の三町間でまとまり組合立東陽病院として発足した。

管理者は、深田町長となる

昭和三十九年三月十九日　東陽駐在所竣工式

昭和三十九年四月一日　消防団員の定数改正し、団員数六一五名となる

昭和三十九年四月四日　組合立東陽病院の建築工事着工

昭和三十九年五月六日　と場改築工事完成する

と場の業者控室、精算室、食堂が新築された。

工事費二、一五〇千円

昭和三十九年五月十五日　白浜駐在所新築工事完成

昭和三十九年五月二十七日　日吉、白浜の両出張所の廃止が町議会で議決

昭和三十九年六月一日　町旗制定、町制施行十周年記念式典が光中講堂で挙行された。